



広報

No.270

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成6年6月末現在)

世帯数	8,642世帯
人口	27,659人
男	14,125人
女	13,534人
6月の人口移動	
出生	36件
死亡	3件
転入	70件
転出	58件
婚姻	17件
離婚	4件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



結成10周年を祝う ～西原ハイツ～

西原ハイツ自治会(上地恒正自治会長)が結成10周年を迎え、7月9日午後、町中央公民館で、町民や来賓ら関係者約300人が出席して、結成10周年記念式典と祝賀会が開催されました。

記念式典では、自治会活動への功労者表彰も行われました。

上地自治会長は「西原ハイツができた当初は新興住宅地域であり住民の結束も弱かったが、自治会が結成されてからは住民の交流も深まっている。21世紀を見据えた新しい地域づくりに取り組んでいきたい」とあいさつしました。

平安恒政町長は来賓あいさつの中で「ここで生まれ育った子どもたちにとっては、ここがふるさと。また、西原ハイツのコミュニティー活動は他の自治会の模範になっています」と自治会活動を評価しました。

なお、西原ハイツ自治会では記念事業として記念誌の発行、西原南小学校への記念植樹、自治会事務所の整備拡充、タイムカプセルの埋設などを行いました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

とじて保存すると便利です

平和の願いを音楽にのせて

—西原町平和コンサート—

音楽を通して恒久平和を實現しようと「西原町平和コンサート'94—平和の響き」が、六月二十三日慰霊の日に町民体育館で開催され、子どもからお年寄りまで約五百人が参加しました。

主催は、西原町を中心とした第四回六・二三西原町平和事業実行委員会(平安恒政実行委員長)。

町では昨年まで六月二十三日の慰霊の日には平和駅伝を実施してきましたが、今年は



▲歌で平和を呼びかける国吉なおみさんと海勢頭豊さん(左から)

より多くの町民が参加できる催しとしてコンサートを企画しました。これは、音楽を樂しめる今の平和を実感し、音楽を通して平和を愛する心を醸成しようというもの。平安実行委員長はいさつの中で「六月二十三日を単なる休日

に止めず、『反戦平和を希求し行動する日』として位置づけ、行動しよう」と平和への積極的な姿勢を訴えました。

コンサートは三部構成で行われ、平和への願いを多彩なジャンルの音楽で表現、反戦平和を呼びかけました。第一部は「鎮魂の歌」をテーマとし、反戦平和を歌い続けるシンガーソングライターの海勢頭豊さんと国吉なおみさんが、「喜瀬武原」「おひつぎの花」など沖縄の平和の歌として知られるオリジナル曲など七曲を披露しました。伸びやかな声と語りかけるようなボーカルに、聴衆も歌詞のひと言ひと言にじっくりと聴き入って



▲町内の小・中・高校吹奏楽部も平和を願い演奏した

いました。

二部、三部はガラリーと雰囲気を変え、町内の小・中・高校の吹奏楽部やマーチングバンドが出演、親川夏希さん(琉大附属中二年)と親泊寛紀君(西原中二年)による平和創造へのメッセージ朗読を間にはさんで、それぞれ「若い息吹」と「平和への創造」をテーマに、歌謡曲や映画音楽などをハツラツと演奏し、聴衆を樂せました。

最後は東江加奈子さん(西原高三年)が「町民すべてが反戦を決意し、戦争を強く否定

沖縄戦を劇にし平和を学ぶ ガマの中へタイムスリップし追体験

西原小学校(宮里政和校長)では、「慰霊の日」前日の六月二十二日午前、沖縄戦を考える児童劇「一九九四ガマの中で」を上演、全児童が参加して、沖縄戦や平和、命の尊さを追体験の形で考



え、真に恒久平和の確立をめざして全力をつくす」との平和宣言を読み上げて幕を閉じました。

会場の聴衆は、くつろいだ雰囲気の中で音楽をたのしみながらも、平和のありがたさをかみしめていました。

劇は、同校の宮城淳教諭のオリジナル脚本で、西原小の全児童が偶然沖縄戦当時のガマの中へタイムスリップするといふもの。戦時下の子どもたちとの交流や、ガマの中で起こる日本軍による住民迫害、「集団自決」など、これまでの沖縄戦記録調査で明らかに

なった事実が劇の中で再現されました。

劇の中で現代の子どもたちが「集団自決」をする子どもたちへ「生き残って未来へおいでよ」と叫ぶ場面では、観客の児童たちの胸に「命ドウ宝(命は宝)」という言葉がしっかりと刻まれたようでした。児童劇の制作を中心となつて進めてきた宮城淳教諭は、「これまでの語り部から話を聞くことを中心とした平和授業での『沖縄戦を体験して』ない者が、子どもに話しても伝わらない」という経験と、『前任校の学芸会で発表した沖縄戦を基にした劇を見て涙するお年寄りたちの姿』が演劇に取り組みきっかけ」と話していました。脚本を創作す

る上で、子どもたちにお年寄りからの聞き取りを宿題に出し、その話を脚本に盛り込むなど、意識して子どもたちを取り込んできました。その中



▲沖縄戦を考える児童劇「1994ガマの中で」を熱演

で、戦後四十九年を経た今でも子どもたちに「話したくない」と口をつぐむお年寄りたちもいて、戦争による心の傷の深さをあらためて思い知らされることも。

宮里校長は「子どもたちも命と人権の尊さを肌で感じ、戦争という特殊な状況ばかりでなく、身の回りで見こっているいじめなどに対しても、考えてほしい」と話していました。

劇の出演者には、三年生以上を対象に募集したところ九十人以上の申し出があり、十四人が選考されました。

ムーチョ・グスト(はじめまして、

西原町のみなさん！

平成六年度西原町海外移住者子弟研修生二人が、六月三十日午前、身元引受人とともに町役場を訪れ、平安恒政町長を表敬訪問しました。

研修生は、玉那覇ロースパスパトリシアさん(ペルー)と中山アンドレアマルセラさん(アルゼンチン)の二人。

玉那覇さんは、心理学医療と日本語・日本文化、中山さんは、トラベルサービスと日本語・日本文化を六カ月間にわたり学びます。

この事業は、町出身者の海外移住者の子弟を研修生として受け入れ、技術研修や町民との交流を通して、社会の発

展に寄与する人材の育成および町民の国際交流思想の高揚と移住国社会と西原町との友好親善を図ることを目的として行うもので、平成二年度から毎年度実施して今回で五回目。

平安町長は「専門研修ばかりでなく、沖縄の文化・歴史なども学び、その成果を持ち帰って、それぞれの国や町人会のために役立てて下さい」と二人を激励しました。

玉那覇さんは「将来はカウンセリング事務所の開設をしたい」、中山さんは「研修を一生懸命頑張ります」とそれぞれの抱負を語ってくれました。



▲(左から)玉那覇さん、平安町長、中山さん

町小口資金融資制度を発足

なお、玉那覇さんの身元引受人は叔父の玉那覇亀助さん、中山さんの身元引受人は親戚の中山精徳さんです。
(※「ムーチョ・グスト(Mucho gusto)」とはスペイン語で、「はじめまして」というあいさつです。)

西原町(平安恒政町長)では、町内で事業を営む小規模企業者に対し、資金を融資することで事業の健全育成と振興を図ろうと、「西原町小口資金融資」制度を発足しました。

これは、町が県信用保証協会(赤嶺武次会長)に資金を預託、それをもとに低利で貸し出して行く制度で、融資限度額は一事業所三百万円以内、運転資金や転業資金などを対象に、一般の金融機関よ

おわびと訂正
◎先月号(第二六九号)の広報にしはら四頁で町交通安全推進協議会総会の見出しが町青少年協平成六年度総会となっております。おわびして訂正します。



▲「西原町小口資金融資」制度の調印式の様子

り低利の三・五パーセントの利息で、貸し出し期間は最長三年。
対象事業所など規模などの条件があります。問い合わせは、西原町役場産業課
電話(945)4540まで。

平和で活力に満ちたまちづくりを推進しよう

第十四回町青少年健全育成

町民総決起大会

家庭・学校・職場・地域社会が青少年の健全育成に理解と意識を高め、青少年にふさわしい環境づくりと成長過程に応じた的確な指導育成を行い、文教のまちづくりを推進しよう」と第十四回町青少年健全育成町民総決起大会が、七月十六日午後二時から町中央公民館で開催されました。

後、生徒三人による意見発表や玉城政光琉球大学名誉教授による「家庭教育と父母の役割」と題しての講演が行われ、個人五十一人および二団体が表彰されました。

あいさつの中で平安会長は「喫煙や校内暴力、金銭せびりなど青少年を取り巻く状況は極めて厳しい。家庭を中心に学校や地域がそれぞれの責任と役割を果たし、一体となつて青少年の健全育成を図っていく」と述べました。

坂田小六年の屋我安奈さんは「心身にハンデのある人は、本人の強い意志と、周囲の人々の温かい思いやりが大切」、西原東中三年の国場絵梨子さんは「道徳心の欠如が公害や野犬など様々な問題を引き起こす原因となっているのでは」、西原高二年の舩田達矢さんは「開発が環境破壊にならないように、都市開発には長期的な展望が必要」とそれぞれ意見発表しました。

また、大会宣言として「一、自他の生命を大切にし、思いやりのあるやさしい子に育てよう。一、青少年の深夜徘徊、不健全なアルバイトをなくし、交通事故、飲酒、喫煙等の問題行動を防止しよう。一、親子の対話を多く持ち、温かな家庭の雰囲気努力しよう。一、地域のボランティア活動に積極的に参加し、友愛と連帯の輪をひろげる青少年を育成しよう。一、深夜徘徊をしている青少年への『愛の一声』運動を展開しよう」の五つを決議しました。



▲「家庭を中心に学校や地域がそれぞれの責任と役割を果たそう」と述べる平安会長

なお、表彰された方々は次のとおり（敬称略）。

【善行青少年】（四十六人）

《坂田小》島袋富暢、屋我安奈、内間航太、岸本夏希、岡村直美、国仲高志、富川真理子。

《西原小》梅川由夏、宇良綾野、上里円佳、比嘉信秀、比嘉友恵、小波津まどか、渡嘉敷なずな、崎原千裕、神谷亜矢子。

《西原東小》新垣牧、長嶺雄二、末吉華南子、内間安理、嘉手苺亮太、本村夏河。

《西原南小》本村仁、寄川貴博、真喜志聡子、名嘉亜梨紗、城間優佳、東恩納千恵。

《西原中》伊計公人、田中織江、佐賀田紘子、具志堅さやか、仲里紀行。

《西原東中》玉那覇いずみ、良原榮理奈、大城愛理華、宮城理絵子、宮城公貴。

《西原町スポーツ少年団》立津政志、津波古剛、平安洗太、比嘉素礼、米須琢準。

《町子連》仲松利恵、上里亜矢乃。

《西原高》新里善仁
【青少年健全育成成功労者】

（五人）

《西原高》伊川幸子

《西原中PTA》宮里正春、仲宗根純一

《西原東中PTA》根川朝一

《西原町スポーツ少年団》金城恒浩

金城恒浩

【青少年育成成功労団体】

（二団体）

小波津ファイターズ（金城恒浩代表）、内間団地子ども会（久場秀美育成会長）

新生活運動を考えるフォーラム ～ホンネで語ろう冠婚葬祭のあり方～

- ◎主催 西原町女性団体連絡協議会
- ◎日時 平成6年8月6日(土) 午後2時～4時
- ◎場所 西原町中央公民館大ホール
- ◎参加対象 町女性団体連絡協議会会員・全町民
- ◎参加料金 無料

お知らせ

8月7日 小那覇大綱曳き(道ズネー 午後4時、大綱曳き 午後6時 小那覇公民館広場)

平成六年度ひとり暮らし老人激励会

西原町社会福祉協議会（宮平吉太郎会長）は、七月五日、平成六年度ひとり暮らし老人激励会を開催しました。

これは、町内のひとり暮らしのお年寄りたちの慰問を目

的に行われているもの。

今回は、午前中に南部の琉球ガラス工場や琉球漆器工場などを見学、町内の宴会場で昼食をとった後、プロ劇団による民謡や漫才、現代喜劇な



▲プロ劇団の妙技に「ヌチグスイ ヤッサー（命の洗濯になるねー）」と大喜びの参加者たち

どを楽しみました。

参加したあるおばあさんは「ヌチグスイ ヤッサー（命の洗濯になるねー）」と大喜びでした。

平成六年度 町青少年協総会

町青少年健全育成協議会（平安恒政会長）は、六月一日午後、町役場二階大会議室で平成六年度総会を開催しました。

平安会長はいさつの中で「家庭がしつけの基本。地域全体で手を取り合って、青少年の健全育成に取り組んでいきましょう」と述べました。

総会では、平成五年度事業報告や決算報告・監査報告、平成六年度事業計画や予算が審議され全会一致で承認されました。

質疑応答では、夜間巡回指導の取り組み強化などの提案もあり、活発な総会となりました。

町更生保護婦人会が 平成6年度定期総会を開催

六月二十四日午後、町社会福祉センターで、町更生保護婦人会（宮城幸子会長）は、平成六年度定期総会を開催しました。

総会では、平成五年度の事業報告と決算報告、監査報告、平成六年度の事業計画案と予算案が審議され、原案どおり可決承認されました。

今年度は、二

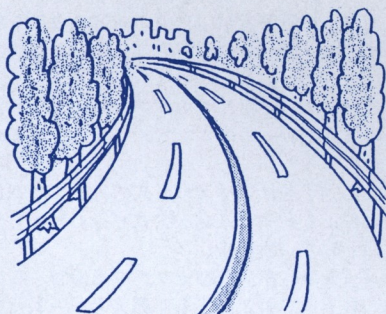


▲町青少年健全育成協議会（町青少協）総会のもよう



▲町更生保護婦人会定期総会のもよう

回の広報発刊と四回の施設訪問激励などの事業、宮崎県で開催予定の九州地区更生保護婦人会大会や県更生保護婦人会チャリティーショーなどへの協力事業が予定されています。



8月は道路をまもる月間

8月10日 健康ハート週間（～16日・厚生省）



西原東児童館で救急法の講習会

6月29日午後、西原東児童館（平安恒政館長）では、金城盛貞日本赤十字社沖縄県支部救急法指導員を講師に、救急法講習会を開催しました。

金城指導員は、日射病や熱射病、海で溺れた時などの症状やその応急処置、健康管理などを約2時間にわたって指導。模型や人体モデルなどを使って、説明や実技講習を行ないました。

「簡単なことだけれど、知っていて実際に応急処置をしてもらうとかなりの高率で助かる」という金城指導員の説明に、参加者たちも真剣に聞き入っていました。

【救急法】

▽日射病一炎天下など強い太陽の下での作業で、体温が急激に上昇、顔が真っ赤に火照る。冷たいタオルで体をふいたり、風通しのよいところに移すなど体を冷やして体温を下げるようにする。

▽熱射病一密閉された部屋などで気分が悪くなる、体がだるいなどの熱疲労を訴え、顔が真っ青になる。毛布をかぶせたり、足を高くするなど体を温め、体温を上げるようにする。

▽海で溺れた人の場合一声をかけたり、頬を打ったりして意識を確かめる。舌が落ち込んで気管支（のど）に詰まり窒息する可能性があるので、頭を後ろにそらして鼻や口からスムーズに空気が流れ込むようにする。水をのんでいるときは、体を横向きにして胃（へその上あたり）を斜め上に強く押す。呼吸停止のとき（肺の上下動がない場合）は、鼻を押さえて、口から息を吹き込んで（5秒に1回）、自活呼吸をうながす。大抵の場合、せき込んだ後に水を吐き、自活呼吸を始める。

※これから夏本番、海に山に絶好の季節を迎えます。
みなさんも外出先では、十分に気をつけて下さい。
“忘れるな、事故対策と119番”。



町保育連絡協議会が講演会を開催

西原町保育連絡協議会（大城常子会長）は、6月30日午後、西原共同福祉施設で、研修として平安恒政町長を講師に迎え、講演会を開催しました。

大城会長はあいさつの中で「西原町は公立と法人の保育所が手を取り合って保育活動に取り組んでいます。今後の町福祉は、保育の枠を越えた全体の連帯が求められる時代になっています。きょうは、これからの町福祉について学んでいきたいと思います」と述べました。

「今後の町福祉にむけて」の演題で講演した平安町長は、社会福祉関係の法律それぞれの改正の趣旨やポイントの説明を行いました。

また、西原町の沿革や土地利用構想、基本計画など総合的な行政の中での福祉を位置づけ、さらに平成6年度の重点施策の説明を行い、参加者の町の福祉行政への理解と協力を求めました。

講演会は、会場の熱気に押されて、予定時間を越えるほどの盛況ぶりでした。



初のゲートボールダブルス大会を開催

西原町ゲートボール連合会（与那嶺誠二会長）は、7月10日、町民陸上競技場で、ゲートボールダブルス大会を開催しました。

これは、町内のゲートボール愛好者が、日頃の練習の成果を競いながら相互の友好と親睦を図り愛好者の輪を広げることを目的として開かれたもの。

今回は年齢制限なしで男女2名が組んでのダブルスの大会であり、通常の試合よりも一層の技術とチームのコンビネーションが要求される点を特徴とします。

24チーム48人が参加して、予選はリーグ戦方式で行い、本戦は各予選ブロック1位チームによるトーナメント方式で行われました。

なお、大会結果は次のとおり（敬称略）。

▽優勝・大セイコチーム（大城盛孝、大城ナエ）▽準優勝・座波進チーム（座波進、我謝トヨ子）▽第3位・玉那覇善栄チーム（玉那覇善栄、安里貞子）、新垣省吾チーム（新垣省吾、与儀文子）



人づくりのための環境づくりを

平成6年度西原町人材育成会（平安恒政会長）総会が、6月27日午後、町役場2階会議室で開催されました。

総会に先立ち役員への委嘱状交付があり、5人に委嘱状が交付されました。

議案審議では、会則改正や平成5年度決算報告、平成6年度予算案等が審議され、原案どおり可決承認されました。

平安会長はあいさつの中で「文教のまちにふさわしいバランスよい子どもたちの人格形成と多数の人々の賛同が得られるような環境づくりをしていこう」と述べました。

津花波区が農業研修

津花波区（町田宗助区長）は、6月19日、東村慶佐次で、農業研修を行いました。農業研修には43人が参加、イスラエルから技術導入をしている東村慶佐次の港川さんのハウスパパイアについて説明を受けました。

これは、後継者不足と農業従事者の高齢化が進展する“津花波区のこれからの農業を考える何らかのヒントになれば”ということで始められたもので、1昨年の名護市のマンガー、去年の今帰仁村のスイカに次いで今回で3回目。

町田区長は「研修先はみな地理的ハンディがあるところ。地理的ハンディがあっても、これだけ工夫して頑張っているんだから、自分たちも頑張らなければという気持ちになれば」と農業研修の狙いを語ってくれました。



県産品のより一層のご愛顧を

「県産品を優先に使用してください」と、「'94県産品奨励月間」キャンペーン行動団（黒島善茂団長）一行が、7月8日午後3時に町役場2階会議室で要請行動を行いました。

行動団にはオキコ（株）、琉球設備工業（株）、（株）石川酒造所など県内から約30社が参加しました。

要請を受けた小川良夫町助役は「西原町は県産品優先使用宣言のまちです。今後は町民へも浸透させていきたい」と述べました。引き続き、同じく要請を受けた城間光雄町議会議長や与那嶺絹子町婦人連合会会長があいさつし、行動団一行を激励しました。

また、呉屋定子町商工会会長も「消費者が高級志向になっている中で、県産品愛用をすすめたい。今後とも新製品の開発に取り組んでください」と激励しました。



西原バッファローズが県代表に

西原バッファローズ（大城幸哉代表）が、6月30日午後、平安恒政町長を表敬訪問し、少年野球チームの県代表報告をしました。

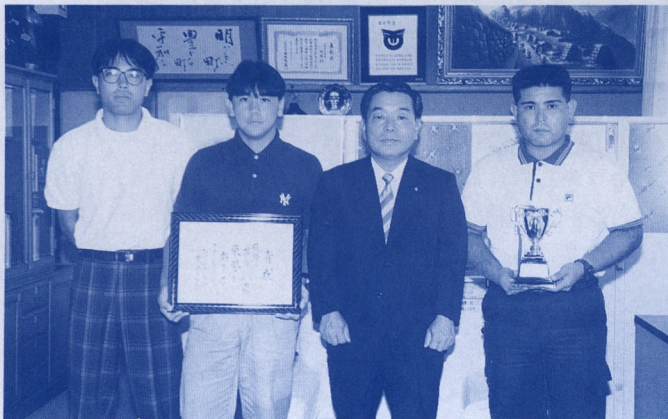
これは、西原バッファローズが、5月初旬の中部地区A&W杯大会で4強入りした力が認められ、8月13日から福岡県で開催される第16回西日本少年野球大会（稲尾杯）に推薦で初出場することになったもの。同チームは、6月初旬の平成6年度スポーツ少年団中部地区大会で初優勝するなどめきめき力をつけています。

平安町長は「頑張って力を発揮して下さい。みなさんも野球というスポーツを通して、ほかの子どもたちが経験できない素晴らしい体験をして下さい」と激励しました。

立津政志キャプテンは「県代表として精一杯頑張ります」と西日本大会の上位進出に向け決意を述べていました。

頑張れ、西原バッファローズ！





西原サッカークラブが社会人サッカーで初優勝

西原サッカークラブ(奥濱馨監督)は、7月15日午前、平安恒政町長を訪れ、社会人サッカー大会の優勝と県代表の報告をかねて表敬訪問しました。

同クラブは、6月19日に行われた第17回県社会人サッカー選手権大会の決勝で、名護スポーツFCを破り初の栄冠を勝ち取りました。決勝戦は、両チームとも1-1のまま延長戦、再延長戦となったが無得点に終わったため、PK戦にもつれこみ、3本のシュートを決めた西原サッカークラブが初優勝を勝ち取りました。

同クラブは、西原高校サッカー部のOBを中心とする25人で構成、週3回練習をつんでいます。奥濱監督は「西原小、西原東中、西原高のサッカー部は県内でも強豪であり、サッカー競技の底辺の拡大を感じています。九州大会では、ベスト4の壁を破って、サッカーも強いことを示したいが、とりあえず1回戦突破を目標に頑張りたい」と話していました。

平安町長は「九州で、西原町といえばバレーボールというぐらい、バレーボール競技での知名度は高い。将来はサッカー競技でも強豪の仲間入りを果たし、知名度でもバレーボール競技を追い越すよう頑張ってください」と激励しました。



西原町役場チームがバレーボールで優勝

7月2日午後、首里東高校体育館などで、産業人9人制バレーボール全国優勝大会県予選が行われ、見事西原町役場チーム(宮平正和監督)が優勝しました。

7月5日には、平安恒政町長に優勝報告。西原町役場チームの新城武主将は「(決勝では)レシーブに苦しんだ。全国大会ではコンビバレーを生かして頑張りたい」と述べました。

平安町長は「バレーボールのまちとして全国的にも知名度が高い西原町。町役場チームの優勝はとてもうれしい。是非、全国大会でも頑張ってください」と激励しました。

なお、全国大会は10月14日から3日間、高知県で開催される予定になっています。

このたび、新しく事務担任者に次の三人が委嘱されました。町民のみなさん、町民と町政の新しいかけ橋をよろしく願います。

▽棚原区―伊波時男(字棚原二百七十一番地、電話九四六―七八五九)

▽県営内間団地区―中村盛健(字内間四百十一番地の二(二二〇一)、電話九四五―四三二二)

▽我謝区―城間義光(字我謝二百十六番地、電話九四六―三四四二)

新事務担当者を紹介します



我謝
城間 義光
字我謝216
☎946-3442



県営内間団地
中村 盛健
字内間411-2(2-201)
☎945-4322



棚原
伊波 時男
字棚原271
☎946-7859

「うまくできるかな?」
「なかなか難しいぞ」



「これでいいんでしょう?」
「できた、できた。」

ビスケットケーキはいかが

6月27日午後、西原児童館(平安恒政館長)では、クッキングクラブ10人のお友達で、ビスケットケーキづくりに挑戦しました。

ビスケットケーキは、ビスケットにチョコやホワイトクリームを塗って重ね合わせていき、クリームで覆って、チョコチップで色を添え、冷蔵庫で冷やすとできあがり。

参加した子どもたちは、分からないところを2人の児童厚生員のお姉さんたちに聞いては、「わかった、かんたん、かんたん」と慣れた手つきで次々とビスケットケーキを作っていました。

クッキングクラブは小学校2、3年生が中心となっており、6月7日から毎週火曜日に活動、今回は最後の活動日。

できあがったケーキをおいしく食べたあとは、使った皿やスプーンなどを洗ったり、後片付けもきちんとしていました。

平和宣言



▲平和宣言文を読みあげる
東江加奈子さん(西原高3年)

平和は、日本国憲法に定める国民主権主義、基本的人権尊重主義と並び、人類最高の理想であり、普遍的且つ崇高な基本的理念である。

東西冷戦時代の終焉を迎えた今日、今なお、民族、宗教等に絡む地域紛争が勃発し、多くの尊い人命が失われ、地球環境の破壊が続いている。また、最近の北朝鮮の核査察をめぐる問題等、核軍縮、核廃絶の人類の願いは未だに実現されていない国際情勢である。

一方、国内においては、P K O問題等、平和憲法の精神が歪曲化する中、いわゆる「核抜き本土並み」返還であったはずの本土復帰が核密約疑惑としてマスコミに報じられ、県民に大きな衝撃を与えている。

巨大な軍事基地と激化する軍事演習、そしてさまざまな基地被害、その実態は本土復帰後も依然として変わらず、本県の振興施策や県民生活に大きな重圧となっている。

本町では特に先の大戦で当時の人口の約47%に当る5,106人の尊い命と貴重な財産を失った悲慘な戦争体験を踏まえ、昭和60年12月18日、世界平和を求める町民の意思を表明した非核反戦平和都市宣言を決議した。さらに平成4年3月30日、日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に向けて、町民が平和で安全な環境のもとに、人間としての基本的な権利が尊重され、豊かな生活が築ける社会の実現をめざして平和条例を制定したところである。このことによって、今後平和の尊さを後世に伝えることが私たち町民の使命であり、あの悲慘な沖縄戦を二度と繰り返させてはならない不断の努力が求められている。

この6月23日を「反戦平和を希求し行動する日」として位置づけ、全ての町民が反戦を決意し、恒久平和を訴え、平和に生きる権利を自らのものにするために、戦争を強く否定し、真に恒久平和の確立をめざして全力をつくすことをここに宣言する。

平成6年6月23日

西原町平和コンサート'94

『自賠責 小さなシールで 大きな安心』

今年も無保険（無共済）バイク対策協議会（総務庁、警察庁、大蔵省、農林水産省、運輸省等）では、9月1日から9月30日まで「無保険（無共済）バイクをなくそうキャンペーン」を行います。

250cc以下のバイクには車検制度がないこともあって、自賠責保険（共済）の継続契約をつい忘れがちです。小さなバイクだからといって「油断は禁物」、バイクの起こす人身事故も軽視は出来ません。無保険（無共済）で死傷事故でも起こしたら、それこそ大変です。

また、バイクにも自賠責保険（共済）への加入が法律で義務づけられており、無保険（無共済）で走ると、6ヶ月以下の懲役、または5万円以下の罰金、さらに違反点数6点となり、免許停止処分となります。

もし、契約切れになっていたら、最寄りの損害保険会社、代理店（バイク・自転車店、コンビニエンスストア等）、農協へいきましょう。

お知らせ
でーびる



案内・募集

行方不明者を捜す相談所開設

あなたの身内の方で、家出、その他の理由で行方が分からないままになっている方はいませんか？警察本部と浦添署では、8月1日から8月31日までの一ヵ月間を行方不明者等捜索強化月間と定め「行方不明者を捜す相談所」を開設します。

お気軽にご相談下さい。

※警察本部鑑識課 電話 862-0110

※浦添警察署 電話 875-0110

鑑識課 内線(234) 防犯少年課 内線(253)

寄付・香典返し（ありがとうございました）

【第1回西原カップ九州高等学校バレーボール大会への寄付金】

▽字嘉手苅76番地の8、三善建設株式会社（小波津健代表取締役社長）が100万円。

▽株式会社沖縄銀行（新崎盛善代表取締役頭取）が50万円。

▽字小那覇858番地、南西石油株式会社が50万円。

▽字我謝241番地、有限会社東洋建設（安谷屋秀夫代表取締役）が50万円。

▽西原産業合資会社が3万円。

▽有限会社西盛開発が2万円。

▽西原町建設協力が10万円。

【香典返し】

▽字与那城90番地、親泊キヨさんが、故夫輝武さんの香典返しとして町人材育成会へ10万円。

▽字翁長469番地の5、親泊俊吉さんが、故母ミツさんの香典返しとして町社協へ5万円。

【一般寄付】

▽字小那覇958番地、沖縄鉄工業株式会社（平山一義代表取締役）が、創立20周年を記念して町人材育成会へ50万円。

▽那覇市旭町27番地、金秀グループ（呉屋秀信会長）が、福祉事業に役立ててくださいと町社協へ30万円。

▽字我謝241番地の40、玉那覇香代子さんが、退職記念として町人材育成会へ10万円。

＝ 入 国 警 備 官 募 集 ＝ —— 高校卒業程度 ——

▶ 受付期間 ◀

8月19日(金)～9月2日(金)（9月2日消印有効）

▶ 受験資格 ◀

昭和46年4月2日～昭和52年4月1日生まれの者

▶ 採用予定数 ◀

約120名

▶ 試験日・試験科目 ◀

※お問い合わせは、
法務省 福岡入国管理局那覇支局
〒900 那覇市樋川1-15-15 ☎(098)832-4185

試 験	試 験 日	試 験 種 目	解答時間
第1次試験	10月2日(日) (9:00～13:35)	教養試験 作文試験	2時間20分 50分
第2次試験	10月3日(月)	人物試験 身体検査 身体測定 体力検査	

8月25日 西原カップ九州高等学校バレーボール大会(～27日、町民体育館など)

平成6年度 児童扶養手当現況届及び 特別児童扶養手当所得状況届について

児童扶養手当及び特別児童扶養手当受給者の皆さんは、毎年1回現況届又は所得状況届を提出することになっています。この届けは、受給者の前年の所得の状況、養育の状況について確認するためのものです。

もし、この届けを出さない“場合”ひきつづいて受給資格があっても8月以後の手当の支給を受けることができなくなりますので必ず提出して下さい。

受付期間：平成6年8月11日(木)～8月17日(木)
午前9時～午後4時（土曜日は閉庁）
受付場所：●児童扶養手当現況届
西原町役場育児相談室（水道庁舎2階）
●特別児童扶養手当所得状況届
西原町役場福祉課

※尚、詳しいことは西原町役場福祉課までお問い合わせ下さい。

☎ 945-5311 （内線123）

刑務官募集のお知らせ

刑務所、少年刑務所又は拘置所に勤務し、被収容者に対し、日常生活の指導、職業訓練の指導、集会やクラブ活動の指導、悩みごとに対する助言指導などを行うとともに、施設の保安警備の任に当たる刑務官を下記のとおり募集しています。

なお、詳しくは、沖縄刑務所庶務課まで問い合わせ願います。

沖縄刑務所
〒901-15
沖縄県島尻郡知念村字具志堅300
電話 098-948-1096（内線202）

記

- 1 受付期間 平成6年8月19日(金)～9月2日(金)
(郵送の場合は、当日消印のあるものまで有効)
- 2 受験資格 刑務A：昭和40年4月2日～昭和52年4月1日生まれの男子
刑務B：昭和40年4月2日～昭和52年4月1日生まれの女子
- 3 採用予定数 沖縄地区 約10名
(他地区については、別紙人事院受験案内参照)
- 4 試験日 平成6年10月9日(日) 午前9時から
- 5 試験場 那覇高等学校
※他地区の採用を希望する場合も、本校で受験することができます。

◆ 明るい選挙で住みよい町づくり ◆ 西原町議会議員選挙

投票日は平成6年
9月11日(日)です。

★任期満了による西原町議会議員選挙が平成6年9月11日に行われます。

★貴重な一票を無駄にしないように皆さんそろって投票しましょう。

○投票時間／午前7時～午後6時

○告示日／平成6年9月6日

○名簿縦覧／平成6年9月6日～7日まで

○住所要件／平成6年6月5日までに転入届をした者で
投票日まで引き続き町内に居住している者

○年齢要件／昭和49年9月12日までに生まれた者

※詳しくは町選挙管理委員会へお問い合わせ下さい。☎945-5011（内線115）

第7回 親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー参加者募集

1. 趣 旨

本県は去った大戦で、国内で唯一の住民を巻き込んだ地上戦を体験した。緑が豊かで自然に恵まれた守礼の島は一瞬のうちに地肌が剥出しになり、地形も変わり、同時に多くの尊い生命、財産及び文化遺産を失った。本町も又、未曾有の激戦地となり当時の村民の約半数が無惨にも尊い生命をたたれた。その悪夢から40数年が経過した今日、全てを失った無の状態から県民の不屈の精神で復興へのたゆまざる努力により、かつての緑豊かな平和の島へと変貌しつつある。

私たちは、あの悲惨な戦争を二度とこの美しい地球上で繰り返させてはならない。平和は人類共通の願いであると同時に人類最高の理想である。私たちは基地も核もない平和で豊かな沖縄県づくりに向けて最大の努力をする責務と同時に、この美しい郷土とすばらしい地域文化を子々孫々に引継ぐ使命がある。本町はこの責務と使命のもとに昭和60年12月に「非核反戦平和都市宣言」を決議した。

そこで同宣言を全町民的に推進する立場から、又、風化しつつある戦争体験を子孫に正しく伝承するため、親子で町内、県内の戦災跡地や平和祈念資料館等を訪ね、戦争の悲惨さと無益さ、及び平和の尊さについて実地で学習することにより平和に対する町民の意識の高揚を図る。

2. 共 催 西原町・西原町教育委員会

資料館→ひめゆり平和祈念資料館→町中央公民館

3. 日 時 平成6年8月12日(金)
午前8時30分 町中央公民館集合
(時間厳守) 班分・点呼
午前8時50分 出 発 式
午前9時 出 発
午後4時 町中央公民館着 解散式

4. 募集予定人員 150人（大型バス3台予定）

5. 戦跡等巡回コース予定（都合により一部変更もあり得る）
町中央公民館→西原の塔→小波津の旧日本軍陣地壕跡→南風原
陸軍病院跡→糸数壕(玉城村)→平和祈念公園〈昼食〉平和祈念

6. 募集方法

- ①申し込み期限 7月22日(金)～8月5日(金)（先着順で定員に達し次第締め切る）
- ②申し込みは直接、町文化広報課に指定の申込書により申し込むこと。
- ③申し込みは原則として親子で申し込むこと。
- ④参加料は無料とする。（各自弁当・飲み物等は持参すること）

7. そ の 他（留意事項等）

- ①懐中電灯は1人1つずつ準備する。
- ②ツアー体験作文募集を予定（募集要綱は当日配布）

8. 事務局 西原町役場文化広報課（☎946-9846）

8月(AUG.) 行事祭事予定

- 1日(月) ○平成6年度「文教大学」開校 10:00 (町社会福祉センター)
- 2日(火) ○3歳児健診 (H3.4.29～H3.5.27生まれ、13:30～14:15、社会福祉センター)
○山梨県都留市との交流事業 (～5日、都パレスなど)
- 3日(水) ○心配ごと相談 14:00～17:00 (10日、17日、24日、31日、社会福祉センター)
- 4日(木) ○ジュニアビースメッセンジャー広島へ (～6日、広島市)
- 5日(金) ○町社協食事サービス (12日、18日、26日、13:00、社会福祉センター)
- 6日(土) ○町役場閉庁
- 7日(日) ○小那覇大綱曳き (町内各地で綱曳き)
- 9日(火) ○母親学級 (妊婦、13:30、23日、30日、社会福祉センター 16日、町中央公民館)
- 12日(金) ○親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー 8:30～16:00 (町中央公民館など)
- 13日(土) ○町役場閉庁
- 14日(日) ○乳児一般健診 (H6.3.1～H6.5.14生まれ、社会福祉センター
H5.8.30～H5.11.14生まれ、9:00～10:00、13:00～14:00)
- 18日(木) ○1歳6ヵ月児健診 (H5.1.7～H5.2.7生まれ、13:30～14:15、町中央公民館)
○青少年交通安全座談会 14:00 (町中央公民館)
- 20日(土) ○人形劇公演「まさかのかさ」など、劇団クラルテ (15:00～17:00、西原東児童館)
○町役場閉庁
- 25日(木) ○西原カップ九州高等学校 (男子) バレーボール大会、開会式 (17:00、町民体育館)
- 26日(金) ○西原カップ九州高等学校 (2日目、町民体育館、西原高校体育館)
- 27日(土) ○西原カップ九州高等学校 (開会式、町民体育館)
- 28日(日) ○住民健診 (16歳以上で学校や職場で健診を受けていない町民が対象)
- 29日(月) ○九州青年の船 (～9/9)

9月(SEP.) 行事・祭事予定

- 1日(木) ○麻疹(12ヵ月～48ヵ月児、13:00～13:45、町中央公民館)
○2学期始業式
- 2日(金) ○3歳児健診 (H3.5.28～H3.6.24生まれ、13:30～14:15、社会福祉センター)
○町社協食事サービス (9日、16日、13:00、社会福祉センター)
- 3日(土) ○町役場閉庁
○町少年少女水泳大会 (14:30、西原小学校プール)
- 4日(日) ○映画上映会 (町中央公民館)
- 7日(水) ○離乳食実習 (乳児、13:30、町中央公民館)
○心配ごと相談 14:00～17:00 (14日、21日、28日、社会福祉センター)
- 10日(土) ○町役場閉庁
- 11日(日) ○町議会議員選挙

海上保安 大学校 学生募集

(高校卒業程度)

	大学校学生	学校学生
受付期間	9月1日(木) 9月13日(火) (9月13日消印有効)	8月19日(金) 9月2日(金) (9月2日消印有効)
第一次試験日	11月5日(土) 6日(日) (第1次試験合格者発表日) 12月16日(金)	10月2日(日) (第1次試験合格者発表日) 10月19日(水)
第二次試験日	平成7年 1月6日(金) (最終合格者発表日) 平成7年1月30日(月)	10月26日(水) 27日(木) ※第1次試験合格通知書で指定する日 (最終合格者発表日) 11月21日(月)

※試験場及びその周辺には駐車できませんので、車での来場はご遠慮ください。

申込先 那覇市・第十一管区海上保安本部
〒900 那覇市港町2-11-1
☎(098) 866-0083

第105期 青年隊員募集要項

1. 趣 旨

機械技術者として活躍しようとする青年、社会の中堅青年とし活躍しようとする青年、農業自営を志す青年達を集めて「働きながら学ぶ」ことを基調として規律ある共同生活を通して協力、協調の精神とたくましい開拓精神を涵養せしめると共に必要な知識と技術を習得させ、地域社会に役立つ青年を養成するため関係諸法規に基づいて充実した教育訓練を行う。

2. 募集人員 70名

3. 応募資格

- (1) 義務教育を修了した満25才までの独身男子
(2) 心身健全で共同生活を守りうる者

4. 訓練期間

自 平成6年10月4日(火)～平成7年3月24日(金)

平成6年度 文教大学を開催

一、趣旨

“人生は常に学習である” 生涯学習時代において充実した生きがいを求めつつ、長年に亘る人生経験を生かし、知識・教養の習得をすると同時に、相互の連帯を深め資質の向上を図る。

二、主催

西原町教育委員会
西原町老人クラブ連合会

三、期間

平成6年8月1日(月)～九月十四日(水)

四、時間

午前10時～12時

五、場所

西原町社会福祉センター

六、対象

西原町に在住する六十才以上の方々

七、受講料

無料、但し実習費の一部自己負担あり

八、受付

西原町福祉センター
TEL 九四六〇六七七
西原町教育委員会(生涯学習課)
TEL 九四五―三六五五

小那覇大綱曳きのお知らせ

◎八月三日(水)

・道ブネーの練習

・第二回リハーサル 午後七時

◎八月六日(土)

・本綱作成

・会場設営

◎八月七日(日)

・大綱曳き本番 午後六時

わたしたちは、時間を守り、すすんであいさつをしましょう(町民憲章)